

平成24年10月12日 まちづくり座談会@北部中学校 発言一覧

(1)大人のワークショップの意見に対してどう思う？(番号は、「大人のワークショップの結果」より)		
子どもが共感した大人の意見		子どもの意見
チラシをまいても人が集まらないので、口コミの力を使って参加者の輪を広げる。(1 - )		・口コミで広がるものは、みんなが興味があるということなので、良い方法だと思う。 ・口コミという考え方が新鮮。
大人が変わらなければいけない。(6 - )		・やはり大人が見本を示すことが必要と思う。 ・大人と子どもの境目はどこ？
まちづくりへの参加は、1日では成らない、長い期間で！(4 - )		例えば、泊りがけで何かひとつのことをやる(合宿的な形)。やりきった後の達成感や、チームワークが生まれる。
地域で子どもと大人のあいさつ重要。(2 - )		やっぱりあいさつは大事。大人でもあいさつしない人は居るので、きちんとあいさつしてほしい。
地域に本当に子どもが遊べる場を。(2 - )		野球やサッカーをしたくても、できる場所が近くにない。何でもできる大きな公園があれば嬉しい。
大人の考えだけでなく、子どもと一緒に参加できる会合を開催してほしい。子どもの発想にはヒントがあると思う。(5 - )		子どもも大人と一緒に話し合ったほうがいいと思っている。
現役世代の親は忙しすぎる。代わって、リタイア後のおじさん・おばさんが地域の子ども教育に参加してはどうか。(6 - )		親は忙しかったら、まちづくりに参加しなくていいの？子どもだって部活や塾などで忙しい。

(2)子どもが参加したくなるまちづくりって？
皆でワイワイ参加できるイベントがあれば参加したい。
普段苦手に行っていること(掃除など)も、皆でやれば楽しいし、達成感も違う。
人数が増えれば、意見もいっぱい出るのではないかな。
自分たちでイベントを企画したい。
大人が考えた「子どもが楽しめること」は発想が古く、楽しめないことが多い。
参加費は、子どもでも参加できるような額にしてほしい。
子どもと言っても、小学生・中学生・高校生では興味があることが違う。

(3)今日の座談会を通して
はじめに「まちづくり」と聞いてもよくわからなかったが、今日の座談会を通して興味がわいた。
クラスの中には「まちづくり」に興味が無い人もいると思うので、まずは少人数から始めて、徐々に広がれば良い。
話を聴くのも大事だけど、行動する方が先だと思う。
一宮市の良いところが新たに発見できたりすると、もっと自分の住むまちが好きになれるかも。
今まで振り返っても、子供会や学校行事以外に「まちづくり」に関わったことは、あまり思い当たらない。
父が「まちづくり」に関することをやっている姿を見て、私も将来的には「まちづくり」に関わっていきたいと思っている。